

【23_090技術系メルマガ】再録・クロのデイトレのセットアップを紹介します

〇〇さん

こんにちは、クロです。

今回のメルマガでは、今年から本格的に購読し始めてくれた皆さんのために

おとしあたりから何度か伝え続けている、僕のデイトレのセットアップ(エントリータイミング)の方法を共有したいと思います。

既に取り組んでいる方も、ダイジェスト復習的なイメージで見返してもらえればと思います。

まず、僕のデイトレに用いるテクニカル分析の全体像を説明した簡易マニュアルも併せて再掲載しますので

まだ持っていなかった人はブックマーク、印刷等してお手元においてもらえれば幸いです。

▼簡易マニュアルPDF▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/kurogaki_mamamual_e.pdf

さて、これはどんなテクニカル分析でも同じように行っていると思うのですが。

トレードするにあたっては、先の値動きは誰にも読めない(相場の不確実性・確率論的思考)

その前提で行う以上、自分がトレードする時の『基準』をハッキリさせておかななくてはなりません。

その際に必要な情報として、まず『目線』(自分がどちらに向かってトレードするのか)を決め

それに沿った『セットアップ』(タイミングどり)を組み合わせる必要があります。

大抵の人は、目線の一貫性がないまま「どこでエントリーするか」しか考えないので

トレードの内容に一貫性が伴わない事が多いのです。

この『目線』を確立する(自分の中での一貫性)ことが前提として大事になることは常に覚えておいてください。

ではここから、今日の本題です。

僕の言う『セットアップ≡タイミングどり』というのは、「いつも、この形が来たら入る」という決めごとを自分の中に作っておくイメージです。

ご存知の通り、いわゆる『MA収縮⇒発散』と『3波理論』の合わせ技が、僕にとっての『セットアップ』なのですが

僕の中では単に『セットアップ』で「この形が来たらエントリーする」というだけではなく

『この形が整ったら、“損切り位置” も決めてどこでエントリーし、決済するか』

ここまでをワンセットで考え、リスクコントロールまで考慮することが一連の『型』であるという考えのもとにトレードを行っています。

これを踏まえて、僕のトレードの作業手順を箇条書きにしていくと

～～

1. 自分があらかじめ決めておいた『セットアップ』が整いそうな通貨を『監視通貨候補』として、2～3個選ぶ

(整いそうな状態・・・M15-5の『MA収縮』は絶対。また、認識できる『1波』まで確認出来ている状態)

2. 上位の時間足(『H1～日』、週、月足)の状況を見て、『邪魔な水平線・MA』が居ないかを確認(『目線』の固定)

3. 『セットアップ(MA収縮+3波)』を軸に損切り位置とエントリー位置を決め、『目線』の情報から必要分のリワードを決め、リスクとリワードのバランスが良ければエントリー。

～～

これが基本動作です。

まずはこの手順に沿って、過去のチャートからパターン認識をするトレーニングを重ねて

自分なりのルール言語化をしていきましょう。

そして、そのルールに基づいて、FT5やデモトレードで実際にトレードのシミュレーションをしながら

月の利回り・勝率などの集計データを取っていく(メルマガ【083】通目参照)。

この作業を地道に行いつつ、自分なりの型を時間かけて作っていきましょう。

現在講座やサロンのメンバーの皆さんも、各々のペースでこれと同じようなことをやりながら

少しずつ自分の求める結果・パフォーマンスの実現に近づいています。

焦ることはありませんので、じっくり取り組んでみてください。